

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2017
10月号
vol.615

月刊

同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

緊急事態は突然にやってくる！
（今や、中小企業に欠かせないBCP（事業継続計画））

21世紀型
自立型
企業づくり

自社に似た会社を探せ！

西田 英司 氏 [株式会社カルペ・ディエム]

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすと
AR動画が見られます！
ARアプリ「COCOAR2」のダウンロード方法は
P2をご覧ください

福岡同友会へ
Message

日本政策金融公庫福岡支店
支店長兼国民生活事業統轄

かつまた まさし
勝又 政司 氏



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、設立以来54年の長きにわたり、中小企業家の交流の場を提供するとともに、地域経済の振興と発展に多大なるご尽力をされております。役員並びに会員の皆様に、深く敬意を表する次第であります。

私ども日本政策金融公庫は、政策金融機関として国の政策と地域経済を担う中小企業・小規模事業者や農林水産事業者等の皆さまの活動を「繋ぐ」ことを使命とし、国民生活・農林水産・中小企業事業の総合力を発揮して業務に取り組んでいるところです。

また平成28年熊本地震及び今年7月の九州北部豪雨により被災された方の復興支援や、中小企業の方々の経営安定のための資金繰り支援などセーフティネット機能の発揮に努めております。

成長戦略分野への取り組みとしては、第1に女性、若者等の創業や企業の新たな事業に向けたチャレンジへの支援、第2に外部専門家と連携した事業再生支援、第3に地域社会が抱える課題の解決に取り組む方のためのソーシャルビジネス支援、第4に海外進出のための資金供給やスタンバイクレジット制度の活用などによる海外展開支援、第5に農林水産業の新たな展開への支援に力を入れて取り組んでいます。

今後とも地域経済の発展に全力を尽くし、地方創生に貢献するべく努めてまいりますので、同友会の皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

福岡県信用保証協会 会長

やまさき たけのり
山崎 建典 氏



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては「国民や地域とともに歩む中小企業」を目指し、様々な活動を展開されておられ、役員ならびに会員の皆さまのご尽力に、心からの敬意と感謝を申し上げます。

さて、本県において、中小企業は企業数の99.8%を占め、雇用の約8割を担うなど、地域経済における重要な存在となっています。一方、中小企業の約8割を占める小規模企業は、平成21年からの5年間に1万3千社、約10%減少するなど、地域の将来を考えると、創業や事業承継などの経営支援の必要性が高まっています。当協会では、創業時の資金調達負担を軽減するため、福岡市、北九州市さらには福岡県との連携を強化し、創業者の保証料負担を0にする融資保証制度を開始しました。

また、事業承継時の多様な資金需要に対応するため、事業承継サポート保証「パートナー」の取り扱いを開始しました。さらに、中小企業の皆さまとのコミュニケーションの強化を図るため、企業訪問を推進し、昨年度は7,954件の訪問を実施しました。

これからも、当協会が担う役割と責任をしっかりと認識し、県内中小企業の皆様のベストパートナーとして信頼される信用保証協会を目指すとともに、貴会との「中小企業等支援に関する覚書」を実りあるものとするため、役職員一丸となって努力を重ねて参る考えでございます。

皆さまには、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友10月号 自立型企業づくり

はみだしレポート

株式会社まきもと
代表取締役 牧本 貴宏
(バリアフリー委員長/博多支部)

西田さんは、同友会の中でも、県支部の活動を両輪としてしっかり学ばれています。支部活動・ブロック会・県の委員会活動だけでなく、全国行事へも積極的に参加されています。学びを通じて、行動・活動・運動と発展させ、企業づくり・地域づくりと地域と共に歩む姿勢で企業経営されています。

私も以前、諸先輩方から支部と県の活動は、縦糸と横糸の関係であると言っていた。西田さんはその言葉どおり、バランスよく同友会活動を愚直に実践され、成果を残していかれるようとしています。中小企業として中同協の示す、『人を生かす経営』の体系化・総合実践の福岡同友会の魁ですね。

〈地域と共に歩む中小企業としての取り組み(バリアフリー編)〉

また、西田さんには特別支援学校の生徒さんたちの実習生受入れの旗振りを行っていただいています。様々な状況のもとに一つひとつ課題を整理しながら

ら丁寧に進めていただいています。多様化の進む生徒さんのことをすべて把握されている先生・保護者・福祉現場職員・行政機関等々と立場が異なる参加者の意見を取りまとめていく過程で、採まれてあります。

福祉の国家資格を持つ専門職としての視点で見つめ、経営者として特別扱いしないで個々の適性を生かすとして

ぜひみなさん、西田さんやその仲間がまごころ込めて創作されている弁当やオードブルを一度、食べてください！(同友会の例会やブロック会での注文もOKです！)



株式会社
カルペ・ディエム
代表取締役
西田 英司 氏
(福岡支部)

本誌p7掲載

【今月の表紙】 撮影：富谷 正弘 (株)ココスイメージ(玄海支部)



滝沢から見た穂高連峰の風景です。(海拔2300mほど)
北アルプス(飛騨山脈)の魅力は、やはりダイナミックな岩山を楽しむことです。そびえ立った槍ヶ岳は、北アルプスのトレードマークで、登山中に振り返ると、雄大な景色が楽しめます。9月下旬から10月上旬に紅葉がピークで、いちだんと美しい景色が味わえます。
近年は登山ブームで、若い人だけでなく年配の登山者も増えています。登山客の増加もあってか、遭難事故や滑落事故も増えています。登山の際は体力などに無理のないよう気をつけましょう。(撮影日:9/10)

表紙の写真にスマホやタブレットをかざすとAR動画が見られます!

STEP 1 ARアプリ「COCOAR2」をスマホやタブレット端末にダウンロード(無料)

App Store
Google Play Store

COCOAR2 検索

STEP 2 「COCOAR2」を起動し、表紙をスキャンし、読み込んでみましょう。認識すると自動でコンテンツが流れます。

SCAN!!

緊急事態は突然にやってくる!!

～今や、中小企業に欠かせないBCP(事業継続計画)～

昨今、大規模な自然災害が起り、いつ緊急事態になるか分からない状況です。
BCPとは、こうした緊急事態への備えのことをいいます。
BCPの策定・運用は、特別なものではなく、日々の経営の一環として取り組んでいくものです。

緊急事態は突然にやってくる

(株)筑紫工業
代表取締役 新内 一秋
(代表理事・南支部)

先日発生しました九州北部豪雨災害は、かつてない甚大な被害をもたらしました。被災された皆様にはこの場を借りてあらためてお見舞い申し上げます。また、水害が発生した地域に事業所がある会員企業の皆様は事業活動に様々な影響がでておられることと思います。一日も早く普段の生活と事業運営に戻りますことをお祈り申し上げます。

この度の水害や昨年の熊本地震など、近年、予期せぬ自然災害が身近で頻発しています。気象変動は今後も激しくなっていくと思われ、北朝鮮の核開発やミサイル問題、テロ、サイバー攻撃など、これまでにないリスクも高まっています。まず、私たちは現在、そのような経営環境の中にいるということを自覚せねばなりません。

いかなる環境の変化にも対応し、維持していく。この経営者の責任を果たすためにも、経営指針と同じようにBCPを策定し、社員や顧客に宣言していく必要があります。

先日は、同友会では労使見解に「経営者である以上、いかに環境がきびしくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任があります」と経営者の責任を謳っています。今まさにそのような時代なのです。私たちは中小企業にとつては、景気や市場経済情勢に対応するだけでなく、自然災害への対応や思わぬ事故などの緊急事態に遭遇したときの対応も欠かせなくなっています。

不測の緊急事態は突然やってきます。状況によっては、復旧が遅れて事業が継続できないようになることも考えられます。そのときに、影響を最小限にし、事業復旧をいち早く行えるよう、予め不測の事態を想定し、事業継続のための対応策の計画をたて、まさかの時の準備をしておこうという

のが事業継続計画(BCP)です。私たち福岡同友会では経営指針や事業承継計画など計画の重要性を訴えてきました。以前にも増して、経営指針などとならび、この事業継続計画(BCP)を企業体質の強化の観点から年度方針にも掲げてその必要性を呼びかけているところです。

さらには、不測の事態は自然災害だけではなく、経営者ひとりでは、まさかの時に事業継続が危機にさらされます。同友会会員企業として、どのような状況でも事業を維持し継続していくためにも、経営指針をつくり、実践し、組織経営を進めて、事業継続計画(BCP)を策定して、企業継続を社員や顧客、地域社会に宣言する必要があります。



新内 一秋氏

事業継続計画と災害復旧対策への対応

自然災害大国日本の企業には「事業継続計画(BCP)」が不可欠

全国瞬時警報システム(Jアラート)やスマホの防災速報の情報で身の安全を守るのが最優先ですが、今や事業活動に欠かせない「インターネット」や「インターネット(社内LAN)」を利用するための「情報通信技術(Information & Communication Technology)」のインフラを四災(天災・地災・人災・物災)から守り、「業務システムの安定稼働と業務データの維持保全」を確保することが事業継続の生命線と言えます。

事業継続の困難な状況に備えるBRM(事業危機管理)への対応

事業継続に悪影響を及ぼす事態に備えて、優先順位に基づいて事前に危機回避の予防処置(Risk Management)を採り、事後の危機被害を低く抑える危機回復の対処方法(Crisis Management)を採ると共に、再発防止に備える「事業危機管理(BRM: Business Risk Management)」が不可欠です。

事業継続と災害復旧に即座に応えるBCP(事業継続計画)への対応

自然災害から発生する事業継続が困難な事態を想定して、事業継続に不可欠な最低限の業務内容や被害状況からの最短の復旧対策や再発防止に備えた具体的で即効性のある「事業継続計画(BOP: Business Continuity Plan)」が不可欠です。

あなたの企業価値に相応しい災害復旧手段を施すDR(災害復旧対策)への対応

事業継続への最悪の事態を想定して、あなたの企業価値に相応しい効果的・効果的な「災害復旧対策(DR: Disaster Recovery)」を備え、業務



データが保管されるサーバールーム

一般市民レベルの意識に留まる企業家の価値観や危機感こそ警戒すべき

世間の流れを受けて、価値観や危機感を見誤った経営者が意外と見受けられるのは残念ですが、その無責任さが周りに及ぼす影響は計り知れません。経営者であるからには、自らの事業継続への責任を自覚して経営に取り組んでほしいものです。



BCPIについて講師をつとめる齋藤氏



BCPIに関するセミナー

世間の流れを受けて、価値観や危機感を見誤った経営者は無責任。自らの責任を自覚して経営に取り組んでほしい。



齋藤 純氏

コンピュータシステムのBCP

(株)システム企画
代表取締役 倉本 明彦
(IT部会役員・南支部)

「コンピュータシステムの安心・安全運用のために」
今や、コンピュータシステムなしでの会社経営は難しいと言えます。システムが長期間停止することは、業務停止につながり、致命的なダメージを受けざるを得ません。

システムを安全に継続して運用するには、セキュリティ対策、データ保全の実施はもちろん、電力、ネットワークや機器の障害などの対処手順を考慮しておく必要があります。また、火災やミサイル攻撃、人的ミスだけでなく、地震、津波、台風、落雷、水害などの自然災害への備えも必要です。

皆様にぜひ、
励行してほしいもの

データのバックアップを
できるだけの場所にとる

これは、世代を考慮してのバックアップが必要で、いつも同じ媒体にバックアップを取っていると、運用中のデータが壊れた状態や不正なままバックアップした場合、前回のバックアップを失ってしまうからです。その場合、バックアップからのデータ復元ができなくなります。また、そのバックアップ

の媒体を同じ場所に置くことにもリスクがあります。

九州北部豪雨で、朝倉市の企業の事例を紹介します。(写真①)

SNSで救援要請がされたことや全国ニュースでも取り上げられたので、ご記憶の方も多いと思います。当時は流木で社屋に近づくのも困難でした。バックアップ機器を含むすべての情報機器が泥水に使ってしまいました。(写真②)

販売、原価、会計、給与のすべてのシステムやデータ喪失の危機でした。災害時には、自分の身を守るのに必死で、システム機器や工場の機械などのことを考える余裕はありません。今回の事例では、泥水に浸かったサーバーやバックアップ媒体、パソコンなどを早期に引き上げて洗浄し、ハードディスクから直接データを取り出すこと



ができました。(写真③)
しかし、2週間後に引き上げたパソコンからのデータの取り出しはできませんでした。データの回収は早急な対処が必要です。火災やこのような事象では、データ喪失のリスクを最小化するのにクラウドへのデータバックアップが有効です。

機器手配の手順

実際に、この事例のような被災をした場合、早急に機器の手配が必要になります。現状の機器やネットワーク仕様、手配先などを準備しておく、復旧時に同等なものを手配しやすくなります。

ソフトウェア、データの
復旧手順

機器やネットワーク環境が揃ったら、



倉本 明彦 氏

ソフトウェア、機器情報、
設定情報、バックアップ
データの管理が必須。

機器の初期設定やソフトウェアのインストール、データの復元作業が必要です。業者に依頼するのであれば、早めの手配が必要です。

保険等の加入状況の確認

機器の手配やシステムを復旧するのに、大きな費用が発生します。補償条件などに問題がないかチェックしておくことをお勧めします。

いずれも、ソフトウェア、機器情報、設定情報、バックアップデータの管理が必須です。今回は、九州北部豪雨被害の実例で報告しました。

自社に似た 会社を探せ!

「人を生かす経営」の実践

と見つけたり



株式会社カルペ・ディエム
代表取締役
にしだ 英司 氏

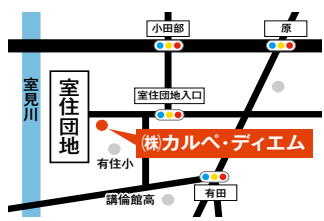
西田英司 氏

福岡支部

社名はラテン語で「一期一会」。人と人との出会いを大切に、誰もが今この瞬間を大切に生きているという理念を込めています。

取材 広報部 弘(東支部)
文章担当 菅原 正弘(安海支部)
写真 眞 富谷

株式会社 カルペ・ディエム
創業 2013年3月
住所 福岡市早良区有田7-15-22-2
電話 092-516-4015
従業員数 21名(正規5名(障がい者2名)、パート等16名(障がい者9名))
事業概要 ラテン語で一期一会という意の会社名通り、出会いを大切にしてお弁当製造の企業です。



看板メニューは
手作りの『日替弁当』

今回の取材先である(株)カルペ・ディエムは、福岡市早良区有田の住宅街の中にあるお弁当の宅配をする会社です。訪れた時間はちょうどスタッフのみなさんができたてのお弁当を手際よくライトバンに積み込んでいくところでした。

「市内を中心に宅配しています。看板メニューは手作りの日替弁当なんです」と代表取締役の西田英司さんは笑顔で話してくれました。スタッフ総勢21名、そのうち11名が障がい者の方です。

同友会に参加してみる

西田さんは営業の仕事を経て、病院に勤務しました。そこで障がいのある方と接する機会が増えました。西田さんはそういう方たちが社会に参加できる方法がないものかと日頃から思索していました。そんな折、九州産業大学の倉知延章教授と出会います。教授は社会福祉学などが専門で、研究テーマとして「精神障がい者の就業支援」「重症精神障がい者の包括型地域生活支援」などがあります。「障がいのある方たちが社会に参加できる場をつくらう」と話していました。平成23年4月、設立理事として倉知教授らとともに障が



会社外観

できることからやってみれば
やがて大きな力になると
信じています。

い者支援のNPO法人を立ち上げました。理事長の倉知教授が同友会の会員になり、西田さんが代理出席していました。

とりあえず全国大会に

同友会ではバリアフリー委員会に参加していました。この委員会は障がい者問題への関心を高め、また障がい者雇用の促進を目的としており、福岡では特にバリアフリー委員会と呼んでいます。

平成23年10月、大阪で開催された障がい者問題全国交流会に誘われるままに参加しました。そこで全国から集まった経営者の熱い語りに圧倒されたのです。「自分も何かやらなければいけないと痛感したのですが、経営なんてやったことがありませんでした」と当時を振り返ります。同友会活動に参加しつつもしばらく模索が続きます。西田さんは「食育」に大いに関心がありました。

障がい者の仕事として飲食を捉えた

適性を生かす

お弁当づくりは各工程を一人でこなす、いわばセル生産で行われることが一般的です。しかし、西田さんは各工程を細分化してそれぞれのスタッフが『自分でできること』を担当してもらう流れ作業、つまりライン生産にしました。献立を考える人、ご飯やおかずを作る人、容器に詰める人、入れ忘れや間違いがないかをチェックする人。PDC Aサイクルが成立しています。障がいのある人は個人の作業能力が小さいかも知れません。しかし、例えば揚げ物をつくる際にコロモをつける作業も根気よく続けています。みんなの力を合わせれば大きな力になります。

「初めはそばにいて一緒に作業しますが、一人でできるようになればその場から離れます。『何がしたいの?』と聞いても答えてくれません。それはわが

とき、お弁当なら必ず一つひとつ作る工程があり『手渡し』という社会の窓口・接点があると考えました。

そこでお弁当製造販売『株式会社カルベ・ディエム』を平成25年6月に立ち上げました。翌7月には正式に同友会に入会します。

何のために仕事するのか?

会社を立ち上げたものの、不安が払拭されたわけではありません。ある日参加したバリアフリー委員会で三輪公平委員長(当時)に「西田さんの会社の社員に夢はあるの?何のために仕事しているの?」と質問され、咄嗟のことで答えられない自分がいました。続けて三輪さんはこう言いました。

ままというより経験したことがないことへの不安や、障がい特性から来ることの適正や強みを見つづけるのが私たちの仕事です」

また、仕事を覚えるのに時間がかかります。しかし、辛抱強く待ちます。一度採用すると長く働いてくれるので、結果的に大きな戦力になります。「3つの『しょく』。つまり、食べる(食)、働く(職)、強み(色)を生かして、働く喜びを感じてもらいたいですね」と西田さんは話します。

特別扱いしない

「うまくいかないケースもあります」と西田さん。スタッフが無断欠勤したことがあります。「約東は守らなければいけないよ」と丁寧の説明して、反省文を書いてもらいました。それから真面目に出勤しています。

クレームもあります。「遅い」「愛想がない」。ある時は、配達の際に「配達員が会社入口の盛り塩を蹴飛ばした」という連絡が入りました。西田さんはその都度向いて誠心誠意お詫びします。「クレームは期待の裏返しだと捉えています」。うまくいったときはとびきりの笑顔で感謝することも忘れません。店長の山田さんも「初めはどう接したら良いのか分かりませんでした。でも



一つひとつが手づくりです

「簡単だよ。自分の会社に似た会社を同友会で探せばいいんだ。支部の中、県の中で。それでなければ全国で探せばいいんだよ。まさに目からウロコが落ちた瞬間でした。」

再び全国大会へ

そしてその年に横浜で開催された障がい者問題全国交流会に再び参加したのでした。今回は目的がはっきりして

同じように接すればいいんだと気づいたのです。今はそうしています」

一緒に食事をする

お昼はスタッフと一緒に食事をする。「二人ひとりが大事な広告塔ですから、自分が作ったもののおいしさを確認してもらいます。それにも増して、一緒に食事することは大切なコミュニケーションとなります。」「しっかりと食事をするようになって生活のリズムもよくなって体力が付いてきます。入社時は30分の米袋を持ってない子が今は米袋を抱えて毎日精米に行くようになりました」と目を細めます。

西田さんは同友会の共育委員会の『どもそだち』という言葉ももらい、一般社団法人ともそだちネットワークを設立させ、近くに就労継続支援「TOMOFUKU」という事業所で農作業の場を作りました。「まだ土作りの段階です。そこで働いて野菜を作ります。同時に幹部が育てばいいですね」

西田さんの夢

「私がそうだったように『無理だ、できない』と思ってはいいつまでたっても前に進みません。物事を細分化してできることからやってみれば、やがて大きな力になっていくと信じていま

います。その大会では、神奈川県で手づくり弁当を手掛ける(株)バーニーズの高橋暢人社長に自分の考えをぶつけてみました。実際に鎌倉にある会社まで訪問してきました。「社内の雰囲気がとても和んでいるのが分かりました。障がい者それぞれが、何が出来るかを見極め、それを結集させることが重要であると認識しました。何よりも同友会の提唱する『人を生かす経営』を実践していることに共感を覚え、さっそく自社でも取り組むことにしました。」

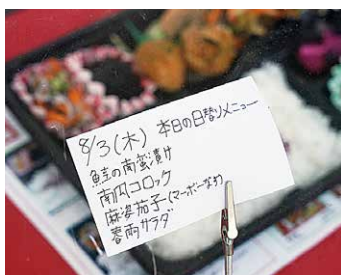
人を生かす経営とは

同友会の提唱する『人を生かす経営』とは4つの委員会の活動を指します。西田さんが属しているバリアフリー委員会に加え、経営労働委員会(経営指針書を作成・実践・検証していく活動と就業規則の作成・見直し)、共同求人委員会(継続的な新卒採用をめざし、社内を改革していく活動)、共育委員会(社長と社員が共に学ぶ活動)です。

西田さんはこれらの活動は有機的に関わっていると考え、同時進行で各委員会の活動を始めました。経営指針書を作成し、さらに専門職として管理栄養士の山田恵さんを採用して組織としての進むべき方向や問題点を共有しました。新入社員研修にも参加し、社内の環境づくりを学びました。



この日の日替わりメニュー



自分の力で稼いだお金で車や家を購入してもらおうのが私の夢ですね」

取材の最後に西田さんの考える自立型企業についてお聞きしました。

「社員の一人ひとりが自立を考えている。会社も自立できるように考えて動いている。できることに特化して、一つにまとまって作り上げていくことでしょうか。そうすれば自立型企業になっていけるんじゃないでしょうか」取材協力ありがとうございます。

住宅火災から弱者を守れ！

全自動初期消火システム

「ケスロボ」[®]

(株)シー・エフ・ピー 代表取締役 花田 博道氏(南支部所属)

取材文/船木 治(中央支部)



(株)シー・エフ・ピー
福岡県福岡市中央区大名2丁目8-18
TEL:092-707-2907

家庭のための防火システム

「これは、本当に必要とされている消火システム！」最初に、花田博道氏のお話をうかがって、そう感じました。

商品の名前は自動消火システム「ケスロボ」で、一般住宅やマンションの自室、小規模事業所を対象とした初期消火活動に特化した全自動の消火システムです。

家庭用の消火器の上に、赤外線カメラとコンピュータを搭載したロボットがのっけていて、赤外線カメラの画像処理で火事になる前に

現代社会の問題点を捉えて

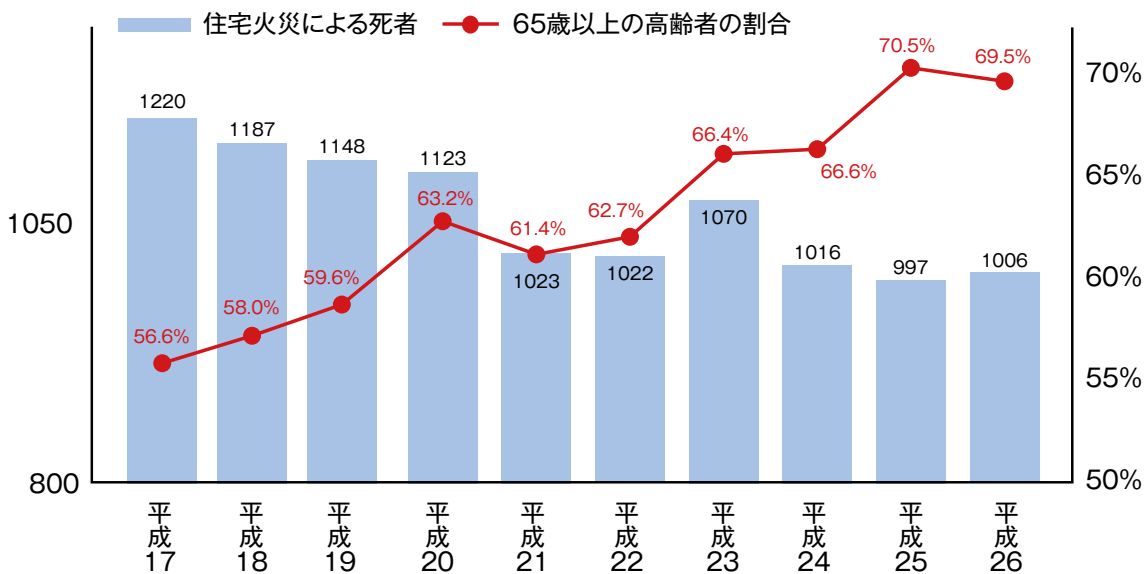
住宅火災での死亡者は年間1000人前後で、そのうち65歳以上の高齢者が70%以上を占めているそうです(東京消防庁でも、法的規制のかかっていない個人住宅などの消火システムを社会的な最優先課題と考え、商品開発に助成金を出すことを決め、「ケスロボ」はそれに選ばれました。

火事は火が出て最初の3分が重要だといわれます。特に高齢者は動けないことが多く、3分以上た



住宅火災の死者数(高齢者)過去10年間の推移

平成27年総務省消防庁



と火が回り、身体的に大きなダメージを受けることとなります。

消防車も通報を受けて10分以上かかるのが普通で、通報の時点である程度火が回っていることを考えると、住人を救えない場合が多いと思われま

す。今まで、商品化された消火システムは、ほとんどが「人が使う」ことを前提にしたもので、「使う人」が必要でした。しかし、今は高齢者が1人や2人で住んでいることが多く、自動での消火システムが必要とされています。国立九州工業大学・北九州高専がロボット開発に強いということで、平成25年より共同の開発を手掛けられたそうです。

個人住宅用の防火システムにはほかにスプリンクラーのシステムもありますが、天井の高さの温度センサーによって作動するため、作動する時には火が回っていることとなります。また、水道の敷設など手間がかかり、高コストになります。

火種のうちに消火 二次災害を食い止める

「ケスロボ」は、赤外線カメラ

火種を早期発見し、その火種を狙ってピンポイントで消火剤を噴射するシステムです(設置は、部屋の隅の上部になります)。

花田氏は、以前、専用の水道で衛生面を最優先した乾式のスプリンクラーシステムの実用新案を共同開発した実績があり、その中で、法的規制のかかっていない民間住宅の防火システムが整備されていないことに着目、一般住宅での自動消火システムの開発を始められました。

と画像処理により、小さな熱源の感知からそれが火事であるかどうかの判断をして作動するため、小さな火種のうちに火元をねらってピンポイントで消火でき、火災被害を最小限に防げるだけでなく、消火剤(水)の広域大量放射による大切な家財の二次被害を食い止めることができます。

消火器は市販の検定消火器を使用しています。人命に関わる商品なので、厳しい検査をクリアした商品を使用した方がよいということと販売において消火器のメーカーの協力を得られやすいというのが理由です(今度の開発では、大阪の(株)初田製作所に検知能力や消火能力などの実証実験で協力をしていただいています)。頭のロボットの部分の構造は意外にシンプルで、使われている部品も比較的安価、トータル費用もかなり抑えたものになっています。

退路を断ち、進路に繋がりを

花田氏は今回の「ケスロボ」の開発・販売にあたって、ご兄弟と一緒に経営されていた(株)花田設備を退社し、(株)シー・エフ・ピー

を今年4月に設立されました。商品としては良くても、売れるとは限らないということを多くの事例でご存じなのでしょう。生半可な気持ちでは商品化できないと考えて、退路を断つ気持ちでの新会社設立です。

花田氏は、同友会に入会して、経営指針書を作られ、会社の経営にしっかりと生かしてこられました。今回の「ケスロボ」のための新会社の設立や開発・販売・事務では、同友会企業の繋がりがとても大きな助けになっているそうです。連携をする上で、やはり同じ理念を共有した同友会の会員とは信頼関係が築きやすいようです。私が「ケスロボ」を月刊同友の記事にしたいと思ったのは、まさに同友会の中で生まれた商品だと思っただけからです。

「ケスロボ」は、10月から販売開始の予定です。

CHECK



YouTubeで「ケスロボ」の映像を見ることができます。

3 火 18:30~21:00 田川支部 10月例会

どうゆう会? 同友会 ~私が同友会に入会してかわったこと~

- たがわ情報センター 田川市番町2-1 ☎0947-49-3220
- 佐野 典久 氏 株式会社佐野畳屋 代表取締役 田川支部

同友会には経営者が抱える悩みを解決するための学びのチャンスがあります。企業の一社一社にあるそれぞれの経営課題を会員同士が互いにさらけ出して、共に考え、共に学ぶことで解決し続けていきます。毎月の例会を中心に体験・情報等を増やす勉強会が数多くあります。また、悩みを相談できる多くの経営者仲間がいます。経営者の仲間と助け合い、学びあいましょう。お知り合いの経営者の方を是非お誘いください!

13 金 19:00~22:00 有明支部 10月例会

県南地区同友会を知る会振替

県南地区同友会を知る会 同友会に入会して成長したこと 10月13日(金) 19:00~22:00

- 萃香園ホテル 久留米市櫛原町87 ☎0942-35-5351
 - 前田 雅史 氏 株式会社掃除でつくるやさしい未来 代表取締役 中央支部
- 「お掃除を通して、子育て中のお母さんたちが働きやすい環境、世代を超えて子どもたちに愛される街をつくりたい」同友会に入会して学び、この理念ができていった過程についてお話しいただきます。

事業承継塾第3講 社員から経営者への道 10月14日(土) 14:00~17:00

- 電気ビル共創館3F 福岡市中央区渡辺2-1-82電気ビル本店隣 ☎092-714-5743
- 庄野 道彦 氏 株式会社ゼコー 代表取締役 福友支部

昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があります。(受講料:2,000円)

17 火 18:30~21:00 博多・玄海支部 合同10月例会

同友会の委員会活用でガッチリ!

~危機的状況から社員とともに歩んだV字回復の軌跡~

- 天神ビル11F 10号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 井上 真一 氏 株式会社大匠建設 代表取締役 博多支部

同友会には学びのチャンスがいっぱい。あなたは同友会を使い倒していますか?せっかくの学びの場を活かしてないなんてもったいない。危機的状況から、同友会で社員とともに学び倒し、V字回復して、自社ビルを建てたまでで成長した井上社長の報告から自社の成長に活かすヒントを見つけませんか?

17 火 18:30~21:00 かすや支部 10月例会

あきらめない精神が会社の未来を創造する

~事業承継の歴史と同友会との出会い~

- 福岡同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 中小企業振興センター11F ☎092-622-0011
- 中原 均 氏 有限会社フィンテック 代表取締役 東支部

事業承継の際の大きな困難を目の前にした時に、どのように考え、立ち向かい、乗り越えるのか。立ち上がる力と諦めない力の元となる経営に対する考え方を学びます。

17 火 18:30~21:00 糸島支部 10月例会

同友会で学んで変わった! 劇的ピフォーアフター

~株式会社さとう建設編~

- 前原公民館 糸島市前原東2-2-5 ☎092-322-2481
- 佐藤 勝則 氏 株式会社さとう建設 専務取締役 筑紫支部

他社での現場監督を経て、8年前に「さとう建設」に入社した佐藤さん。当時、入札で売上を出していた会社は、リーマンショック後ライバル業者の増加で経営難に。社長(父)は、「何とか頑張ろう!」と言うだけで、具体策はない…。危機感から、経営の勉強のため同友会に入会した佐藤さんは、すぐに経営指針書を作成。計画実行の過程で、営業のやり方がわからない、社長・社員の気持ちかわからない、人手は足りないなど、次々と壁にぶち当たりつつも、会社の利益を維持し続けています。同友会に入る前後の会社の変化を、ぜひお聞き逃しなく!

10月の

18 水 18:00~21:00 東支部 10月例会

東京オリンピック後の日本経済~日本の中の福岡の中の中小企業の備え~

- ウィズ・ザ・スタイル福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
- 木下 敏之 氏 福岡大学経済学部教授

東京五輪前後の経済状況の読みを専門家の立場からお話しいただきます。日本~九州~福岡が五輪を境にどのような影響を受けるのか(受けないのか?)、今後福岡の中小企業はどのような姿勢・視野で事業の舵取りをするべきか、きっと前向きな答えが見つかる例会です。

19 木 18:00~20:30 福博支部 10月例会

社員と創る企業風土 ~目的・目標の共有に不可欠のコミュニケーション~

- アクア博多 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-733-1310
- 森 茂博 氏 和新工業株式会社 代表取締役 筑紫支部

理念を社員に共感・共有・浸透させ、現在の企業風土を創り上げた森代表が実践してきたコミュニケーションについて報告していただきます。森代表にとっては、1人でも組織!!何事に於いても基本は1対1で企業規模は関係ありません。コミュニケーション=相互理解について体験報告をお聴きして、深めていきたいと思います。

19 木 18:30~21:00 中央支部 10月例会

激変する社会構造と教育 ~若者に選ばれ、共有できる企業になるには?~

- 天神ビル9号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 11F ☎0120-323-920
- 眞鍋 和博 氏 公立大学法人北九州市立大学 教授 地方創生学群学群長

今回、生の教育現場を知る大学教授から、社会、教育、学生の意識の変化についてお話し頂き、若者に選ばれる企業、若者と共有できる企業になるにはどうすればよいか、考えます。今後の持続的成長のヒントを得、戦略を考える非常に有益な機会です!

19 木 18:20~20:50 筑紫支部 10月例会

企業づくりについて

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 大熊 雅幸 氏 株式会社大熊建設 代表取締役社長 筑紫支部

組織づくり(採用、社員共有など)について、自社の経験談を踏まえてお話し頂きます。それぞれが目指す、よい会社をつくるためには、どのような人員や組織が必要で、そのために今、何をすべきなのかを学んでいく例会です。

19 木 19:00~21:00 青年支部10月例会 (同友会を知る会)

同友会ってどうゆうかい? ~集え! 青年経営者達~

- IP CITY ホテル 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-1965
- 大丸 拓郎 氏 株式会社大丸製作所 常務取締役 青年支部

- 安藤 理絵 氏 株式会社ABA STAFF 代表取締役 青年支部
- 木村 翼 氏 有限会社スタッフ 後継者 青年支部

幅広いニーズを持ったゲストに、我々青年支部の活動内容(良い経営者になる為の勉強例会、また、経営者同士での深い繋がりを生む懇親会など)、同友会青年支部の魅力余すところなく伝えられる例会にします。

19 木 18:30~21:00 福友支部 10月例会

Think&Try ~社員の自主性が会社の未来を築く!~

- WITH THE STYLE 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941
- 前田 努 氏 ヘルテクネ株式会社 取締役本部長 福友支部

本例会では、社員と信頼関係を築き、職務職責に応じた仕事のやり方を明確にした上で、その環境の中で社員が自主性を発揮できる組織作りについて学びます。

19 木 18:30~21:00 ひびき支部 10月例会

私と同友会運動

- コムシティ会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
- 武内 紘 氏 株式会社新工設計社 代表取締役 ひびき支部

行事案内

19 木 18:30~21:00 西支部 10月例会

ダイヤモンドクラブとの合同交流会

- 五滴の膳 福岡市博多区中洲4-6-12 プラート中州ビル7F ☎092-283-8200

昨年、ダイヤモンドクラブと銘打って歴代支部長及び三役経験者の集いが開催されるようになりました。10月の例会はダイヤモンドクラブと支部例会を合体! 歴代支部長三役経験者と会員の皆様との交流の場とします。(参加費:5000円)

19 木 18:30~21:00 りょうちく支部10月例会 (日田支部との合同例会)

NO.1をつくるための戦略思想 ~ランチェスター戦略を学ぶ~

- 筑後川温泉ふくせんか うきは市浮羽町古川1099-8 ☎0943-77-3131
- 古川 隆 氏 株式会社福一不動産 代表取締役

今回は、「ランチェスター:弱者の戦略」を実践されている福一不動産の古川社長に報告いただきます。古川氏が具体的にこの理論を体系化され、実践されているかを学ぶ貴重な機会です。弱者が強者に勝つための考え方を一緒に学びましょう。

20 金 18:30~20:40 久留米支部 10月例会

正社員採用にこだわらない!!

- えーるピア久留米207会議室 久留米市諏訪野町1830-6 ☎0942-30-7901

■ 山口 淳博 氏 西日本産業株式会社 専務取締役 久留米支部

報告者が入社した10年前より約4倍の従業員を抱える西日本産業。会社の歴史とともに、この10年の人材採用をどのように変化させてきたか。また、どのように社員定着化を図っているかについて、実例を交えながら報告いただきます。社員をいかに高揚させ、働き甲斐を作り会社に貢献いただくか。経営者が誰も悩む人財について考えます。

23 月 18:30~21:00 飯塚支部 10月例会

採用と共有が社長の大仕事 ~自分が去ったあと、後継者を多く出すためには~

- バドゥール・コトプキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
- 三浦 義孝 氏 三浦造園土木建設株式会社 代表取締役 西支部

業界は時代とともに若者に好まれない職業となり、三浦氏も人材の採用・教育には非常に悩まれているそうです。そんな中、きちんと技術を習得し、社員とお客様とともに幸せになれる会社をどのように作っていくのか、社員と一丸となり取り組まれている求人活動から社員共有まで実例を交えながら報告いただきます。

24 火 18:30~21:00 のおがた支部 10月例会

決算書の見方勉強会

~ここを知らなきゃ始まらない! 自社を見つめる最初の一步!~

- 直方市中央公民館 直方市津田町7-20 ☎0949-25-2241
- 山口 明子 氏 ASAP動物病院 副院長 のおがた支部

必要な利益を上げることが企業を存続する絶対条件ですが、決算書の見方を知らないと、どうやって利益を増やせるかを検討することができません。経営者に必要な知識の基礎の基礎である決算書の見方について、参加者全員で確認し、自社の課題を数字の面でしっかり把握する基礎を作る機会とします。

24 火 19:00~21:00 大牟田支部 10月例会

経営指針発表会

- グランドホテル清風荘 大牟田市原山町2-4 ☎0944-56-1212
- 山之内 崇 氏 株式会社フォーレスト 取締役 大牟田支部
- 米村 正春 氏 漢方ビューア 代表者 大牟田支部
- 江崎 慎吾 氏 江崎建設 後継者 大牟田支部

自社の業績アップを目指し、あすなろ塾・経営指針2泊3日セミナーを受講して作成した経営指針書を発表します。他社の経営指針書から学び、自社の指針書づくりに役立ちます。

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。
お申し込み、お問合せは、
e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。

24 火 18:30~21:00 南支部 10月例会

歴史ある企業から学ぶ未来へ続く鍵!!

~5年後・10年後・30年後 あなたの会社は?~

- 天神ビル11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1
- 杉谷 知範 氏 株式会社朝日酸素商会 取締役 南支部

時代の流れや経済の上昇、下降を見据えながら、ニーズの捉え方や経営者としての信念を学ぶ例会とします。

24 火 18:30~21:00 FAST10月例会

お客様ブランド ~顧客の視点から発想し、共感・信頼の価値!~

- 振興センター401A会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル4F
 - 松永 幸子 氏 福岡県よろず支援拠点 サブコーディネーター 福友支部
- 昨年3月のFAST例会で学んだ実践型ブランディングの第2弾を開催いたします。

24 火 18:30~20:30 国際交流委員会 10月勉強会

お客様ブランド ~顧客の視点から発想し、共感・信頼の価値!~

- エヌビーエス(株)会議室 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-263-8833
- (18:30~19:00委員会、19:00~20:30勉強会)

人事・労務の基礎知識セミナー 就業規則の作成

10月24日(火) 18:30~21:00

- GGソーラービル 福岡市中央区天神3-4-9 ☎092-714-0451

第141回 新会員フォローアップセミナー

10月26日(木) 18:30~21:00

福岡同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 中小企業振興センター 11F

27 金 18:00~21:00 女性部委員会 10月勉強会

第2回! 本音トーク!!

- もつ鍋 やまだ家 福岡市中央区長浜1-2-5

女性経営者同士、経営のこと、仕事のこと、家族のことなど、肩の力を抜いて本音で語り合いましょ。

28 土 13:00~16:00 北九州支部 10月例会

第6回異業種交流ひろばinくまで通り商店街 with まちなかインキュペータプロジェクトpart2

- くまで通り商店街 北九州市八幡西区黒崎

第25期 役員研修大学 第3講の案内

2017年度は全6講座として、第25期役員研修大学を開講しました。役員研修大学は、会社を維持し発展させるために、自らの資質を高め、どう経営環境を変えていくのか、そのために同友会の歴史及び理念と実践を学ぶ場です。

第3講義 **社員を生かし、生かされる企業**
人を生かす経営の実践



報告者
樋口 康治 氏
(株)アイル 代表取締役
福岡同友会 代表理事

日時: 10月31日(火)
18:00~21:00

会場: 福岡同友会会議室

社員の能力が発揮され、企業経営に生かされる企業づくりをめざしてきた樋口社長です。社員とともに学び合い研究していく中で、新商品づくりにも結びつき、製品化して事業展開に至っています。ここまでに至った血と汗と涙の体験と今後めざす方向について報告します。

りょうちく 支部頑張ってます!!

かきもと かずのり
りょうちく支部：柿元一徳



こんなに多くの土砂が搬出されました
たくさんの小枝が混じっています
手作業で掻き出します



被害の大きさを感ずる流木の山

大自然の驚異を実感!
そんな時こそ助け合う仲間

7月5日・6日の九州北部豪雨では、筑後平野の最奥である朝倉地区と隣接する大分県日田市西部が甚大な被害を受けました。朝倉・浮羽地区はちょうどりょうちく支部の活動地域にあたります。

我がりょうちく支部でも被災された会員さんが存在し、すでに事業活動に影響が出ている会員さんが数名いるという連絡を受けていました。

そこでりょうちく支部の「柿元ブロック」では、被災したブロック内会員さんのうち、東峰村小石原に圃場を持つ(有)大坪物

産の大坪さんの圃場で、8月のブロック会(土砂の掻き出し作業)を行なうことになりました。急遽計画し、被災から約一ヶ月後の8月10日(木)に開催しました。

当日は甘木から小石原入りしたのですが、その迂回路の途中(福岡の水源である寺内ダムの横を通過)で流木の山に遭遇しました。

よく「人間は大自然の荒らしさを前にすると無言になる」と言いますが、まさにその通りで、参加した5名の会員さんからは、驚きとため息しか出ませんでした。

山奥の川沿いの路も全て護岸の土砂が流され、荒々しい岩が岩面を大きく露出し、橋は流され、家も倒壊した風景と被害からの復旧がままならない山間部の状況を、被災地を初めて訪れた会員さんは初めて目の当たりにしたのでした。

人の手でコツコツと土砂除去に悪戦苦闘!

小石原に入り、開催地の圃場に着くと、ハウス丈の半分の高さまで泥水の痕が残り、土砂で

熱中症を注意して休憩もそれなりにとっていましたが、若手会員さんはやはり日頃からこういった土作業に慣れていないからでしょう、だんだんとスタミナが消耗し、休憩が増える始末・・・(苦笑)

とは言え、作業達成が目に見える形で現れてくると充実感は増してきます。午前中みんなど一生懸命掻き出し作業を行った結果、多少は(全ては無理でした)土砂を搬出し、お役に立てたのではないのでしょうか。

お互いさまの精神でりょうちく支部らしさを確信

スポーツイベントなどを行なうブロック会や支部のレクリエーションもありますが、この様なお互いさまの(地方での災害支援はお互いさまです)でボランティアなど呼びたくありません)な人力支援のブロック会もアリなのではないでしょうか。

高齢化した地方における災害は少ない人的資源の確保が重要となります。災害に遭われた会員さんと幸運にも無事な会



埋め尽くされたハウスが続きます。先に掻き出し作業に従事していた大坪物産の現地スタッフに習い、我々も重機が入ることのできないハウス間の土砂の掻き出しを手伝いました。

去が結構大変です。人手でひとつひとつ除去していきます。りょうちく支部創設メンバーである、鐘江さん、林さんの両県南地区幹事は、若手に負けない活躍ぶりで、労力もいとわず、スコップで一生懸命土砂を掻かれています。

員さんが手と手を取りあい、お互いさまの精神で力を合わせることで、次に災害が起きた時にもこのノウハウはきっと活かされることでしょう。せつかく近くに居るのだから実際に顔を合わせて手を動かし、汗を一緒に

流して助け合う活動もりょうちく支部らしさの一つだと確信しました。同じ地域で営む中小企業家の立場として、災害のときに何が重要かを身をもって感じる事ができたブロック会でした。



青が浸水ライン、紫が土砂で埋まったライン
上/下/手と手を取り合い、作業が進みます



新会員紹介

株式会社コーリン 保険代理店

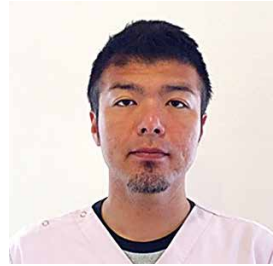


取締役
インテリアディレクター
はらだ こうへい
原田 浩平
(福友支部)

当社は、今年で創業37年を迎える保険代理店です。生損保のいずれも取扱っていますが、とりわけ損保分野での営業活動に重点を置いており、中でも学生総合保険に特化した営業活動を展開しております。同友会で多くの事を学び、地域社会の発展へ貢献する企業を目指します。

福岡市中央区天神1-13-2 興銀ビル9階
TEL:092-761-1787

よしなが歯科医院 歯科医業



院長
よしなが みつひろ
吉永 光廣
(福友支部)

4月に福友支部へ入会させていただきましたよしなが歯科医院です。当院は春日市で開業して、今年で40年を迎えます。モットーは「家族に受けさせたい治療」です。加えて、お口の健康を通して患者さんの人生を豊かにする。という理念で歯科医業に取り組んでいます。同友会での学びを診療に生かしていければ、と考えています。

春日市須玖南5-22 TEL:092-572-8906

2017年度 第4回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2017年8月30日(水) 14時30分～17時30分
会場 福岡県中小企業振興センター202会議室

出席 49名(出席率76.6%)
議長 納富輝子(副代表理事)

協議・審議事項

1. 2017年度の運動進捗状況と課題と取り組みの確認

○地域づくりの活動

福岡県への政策要望提言について

福岡県への政策要望提言が提案された。提出の時期を変更し、当初予定の9月から11月となった。また、10月には提出に先駆けて商工部の部長・次長および担当部長との意見交換を行うことが確認された。修正があれば事務局まで連絡し、次回理事会で審議することとした。

2. 九州北部豪雨被害の対応について

義援金の使途について

集まった九州北部豪雨の義援金の額が報告された。また、その使途について提案があり、承認された。

3. 県総会の開催について

第56回定期総会(2018年5月)開催について

開催日および会場が下記の通り承認された。
開催日/2018年5月16日(水) 会場/ホテル日航福岡
第57回定期総会(2019年5月)以降の開催地について次回以降検討することとした。

理事会報告全文

e.doyuの文書管理(理事会報告-2017年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

報告・要請事項

1. 会員企業の動きなど

経営革新計画承認企業 2017年7月
(県37件/うち同友会会員・企業4件)

- (株)NPC 中原 一彦氏(福友支部)
(テーマ)楽しく続けられる夢達成応援カレンダーの商品化・販売
- (株)ハコブネ 森 淳氏(東支部)
(テーマ)AI活用による成果報酬型IT人材マッチングビジネス事業展開
- 建築デザインOFFICE本田敦子 本田 敦子氏(筑紫支部)
(テーマ)建築関連企業や理美容・スイーツショップ等向けビジネス色彩コーディネート・セミナー事業の展開
- (有)西田モータース 西田 茂氏(飯塚支部)
(テーマ)大手保険会社とのパートナー関係構築及び、マスコットキャラクターでブランド化
※累計で福岡県全体では5,408件、会員企業は延べ414件

この度、先日配布致しました月刊同友9月号に誤りがございましたこと心よりお詫び申し上げます。誤りの箇所につきましては、下記の通り訂正させていただきます。

経営革新計画承認企業 2017年6月

- 誤 ●経営者の学校一般社団法人 山内 修氏(東支部)
- 正 ●経営者の学校一般社団法人 山内 修氏(福博支部)

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター
〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366